

# 温暖化・コンサルティングに力

## CDM調査、焼却のCO<sub>2</sub>算定

ミダック（本社・浜松市）は、温暖化関連事業とコンサルティング事業に力を入れて取り組んでいる。

温暖化関連事業で

は、CDM調査事業に提案が採択され、マレーシアの処分場での温室効果ガス削減に向けた調査を進めている。

傘下のミダックふじの宮（富士宮市）では、カーボンフットプリン ト制度の採択を受け、廃棄物焼却処理サービ スに係るCO<sub>2</sub>排出量

同社は、1952年

に小島清掃社として創業。約80台の運搬車両を保有し、一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬を行っている。関連会社を含め4力所の処理施設により中間処理から最終処分までのトータルな廃棄物処理を行っているほか、培った実績とノウハウを生かしたコンサルティング業務など、幅広い事業を展開している。

コンサルティンク事業では、これまで多数の処理施設を設置・運営してきたノウハウを生かし、処理品目や量を考慮したコストパフォーマンスの高い設備の設計・構築、許可申請などをサポートするほか、新規参入企業に会社設立の支援や資本

協力など、

廃棄物ビジネスの立ち

上げに係る

支援を行う

とともに、

全国規模の

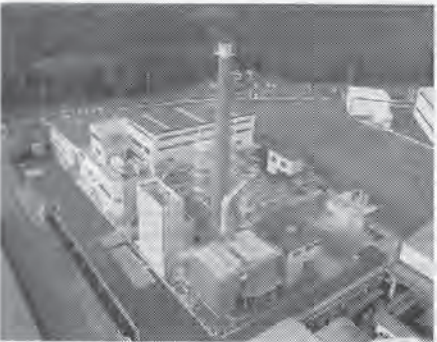
ネットワー

ク作りにも

取り組んで

いる。

（愛知県豊橋市）では、汚泥から異物を除き、水や薬剤を加えて混合し、性状調整を行う。有害物質を含むものは薬剤で無害化処理する。廃棄商品などは、破碎して容器と内容物を分解し、それぞれリサイクルする。



ミダックふじの宮の焼却施設